

第1号議案

平成20年度事業報告

本学会の目的達成のため、定款に定められた次の各事項の事業を行った。

1. 研究発表会および学術講演会の開催（定款第5条一）

1) 研究発表会

- a) 春季大会：平成20年3月27日(木)～31日(月)，於東海大学海洋学部（静岡県静岡市）  
大会委員長 上野信平  
研究発表 口頭713題，ポスター177題，計890題  
シンポジウム5件 演題66題，ミニシンポジウム4件 演題23題  
平成20年度日本水産学会賞受賞者講演9題  
参加者数 1,461名
- b) 第5回世界水産学会議「5th World Fisheries Congress」  
別記

2) シンポジウム

春季大会開催時（平成20年3月31日，於東海大学海洋学部）

- a) 「水産学と日本水産学会の未来 Part-III—行動する日本水産学会—」演題11題  
（主催 理事会・日本学術会議水産学分会）演題12題 企画責任者：青木 宙・塚本勝巳
- b) 「アサリ資源の増殖を目指した流域圏の環境管理」演題13題  
企画責任者：生田和正・日向野純也・桑原久実・辻本哲郎
- c) 「沿岸域におけるアユの生理・生態特性の解明」演題12題  
企画責任者：内田和男・田子泰彦・原田慈雄・大竹二雄・鈴木満平
- d) 「海洋高次捕食者の保全と持続的利用—トップダウンアプローチ：マグロ類，サメ類，イルカ類を例として—」  
演題13題 企画責任者：田中 彰・魚住雄二・宮部尚純・本多 仁・川原重幸・山川 卓
- e) 「漁業における灯光利用の現状と課題—灯光で魚を誘い獲る技術・制度の再構築に向けて—」演題16題  
企画責任者：稲田博史・有元貴文・飯田浩二・長島徳雄

3) ミニシンポジウム

春季大会開催時（平成20年3月27日，於東海大学海洋学部）

- a) 「多獲性浮魚を対象とする漁業生産システムの再構築」演題8題  
企画責任者：上野康弘・熊沢泰生・松下吉樹・土屋 孟・稲田博史
- b) 「熱帯/亜熱帯産有毒魚類と底生性有毒微細藻に関する緊急の課題」演題5題  
企画責任者：西尾幸郎・荒川 修・浅川 学
- c) 「開放的な砂浜海岸における水産生物と環境—吹上浜をモデルとした生態研究—」演題5題  
企画責任者：須田有輔・大富 潤・早川康博
- d) 「次世代型魚類養殖給餌システム開発の現状と展望」演題6題  
企画責任者：神原 淳・田畑満生・秋山敏男・山本剛史・浮 永久

4) 各支部の活動

a) 北海道支部

- ①支部大会（平成21年1月10日・11日），於東京農業大学生物産業学部（北海道網走市）  
シンポジウム「北海道内水面水産業の持続的発展と利用」演題5題，参加者数約100名  
若年の会講演会 演題1題，参加者数約60名  
一般研究発表26題，参加者数約100名

b) 東北支部

- ①支部大会（平成20年11月7日・8日），於ホテル海山（山形県鶴岡市）  
ミニシンポジウム「温暖化と東北地方の海」演題6題  
一般研究発表29題，参加者数60名
- ②支部例会（平成21年2月6日），於東北大学農学部（宮城県仙台市）  
特別講演3題，参加者数64名

- c) 関東支部
  - ①箱根ワークショップ（平成20年10月19日），於四季の湯強羅静雲荘（神奈川県足柄下郡）  
「東南アジア沿岸域における生物資源の持続的利用」演題6題，参加者数33名
  - ②第5回世界水産学会議 サテライトエクスカージョン（平成20年10月19日），  
於小田原漁港，神奈川県水産技術センター相模湾試験場（神奈川県小田原市），参加者数25名
- d) 中部支部
  - ①平成20年度日本水産学会春季大会担当，平成20年3月27日(木)～31日(月)，於東海大学海洋学部  
担当 東海大学海洋学部
  - ②支部例会（平成20年11月21日），於ホテル祥園（長野県上田市）  
シンポジウム「カワウの食害対策と個体群管理」演題5題  
一般研究発表12題，参加者数56名
- e) 近畿支部
  - ①前期例会（平成20年7月5日），於大阪駅前第2ビル キャノンポート大阪（大阪府大阪市）  
シンポジウム「浅海域の順応的環境保全と再生—学際的視点を取り入れて—」演題8題，参加者数64名
  - ②後期例会（平成20年11月29日），於近畿大学農学部（奈良県奈良市）  
一般研究発表8題，参加者数39名
- f) 中国・四国支部
  - ①支部大会（平成20年11月22日・23日），於広島県立生涯学習センター（広島県広島市）  
シンポジウム「元気な瀬戸内海漁業を目指して」演題4題  
一般研究発表36題  
参加者数 シンポジウム73名，一般研究発表65名
- g) 九州支部
  - ①支部例会（平成20年9月27日），於長崎大学水産学部（長崎県長崎市）  
シンポジウム「九州沿岸域における漁場環境保全の現状と展望」演題9題，参加者数約100名
  - ②支部大会（平成21年1月24日），於長崎大学水産学部  
一般講演20題，参加者数55名
- 5) 委員会の活動
  - a) 企画広報委員会
    - ①勉強会（平成20年11月30日），於東京大学農学部（東京都文京区）  
「日本の水産業のこれからを考えるⅠ—定置網漁業，養殖業への新規参入と漁業権—」演題3題，参加者数125名
    - ②勉強会（平成20年12月27日），於東京大学農学部  
「日本の水産業のこれからを考えるⅡ—水産資源の管理と持続的利用」演題3題，参加者数121名
  - b) 水産環境保全委員会
    - ①シンポジウム（平成20年3月27日），於東海大学海洋学部  
講演「水産環境の不確実性に応じた漁場造成のパラダイムシフト—順応的管理による浅場づくりのはじまり—」  
演題11題，参加者数50名
    - ②研究会（平成20年10月20日），於東京海洋大学品川キャンパス  
「魚類養殖場環境の評価と改善への取り組み」演題6題，参加者数31名
    - ③沿岸環境関連学会連絡協議会への参加  
第20回ジョイントシンポジウム（平成21年2月22日），於東京海洋大学品川キャンパス  
「海洋基本計画と沿岸環境」演題11題，参加者数108名
  - c) 漁業懇話会委員会
    - ①第54回講演会（平成20年3月27日），於東海大学海洋学部  
講演「アジア太平洋島嶼域の国際開発協力における持続的な漁業への提言」演題5題，参加者数78名
  - d) 水産利用懇話会委員会
    - ①平成20年度第1回講演会（平成20年10月24日），於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）  
講演「輸入魚介類判別方法の最新情報など」演題3題，参加者数39名

- ②平成 20 年度第 2 回講演会（平成 21 年 2 月 20 日），於東京海洋大学品川キャンパス  
講演「加工用原料魚の確保」演題 2 題，参加者数 59 名

e) 水産増殖懇話会委員会

- ①第 1 回講演会（平成 20 年 10 月 20 日），於パシフィコ横浜・会議センター（神奈川県横浜市）  
講演「環境にやさしい養殖への展望」演題 4 題，参加者数 60 名
- ②第 2 回講演会（平成 21 年 2 月 7 日），於日本大学生物資源科学部（神奈川県藤沢市）  
講演「養殖と微生物の関わり」演題 5 題，参加者数 71 名

f) 国際交流委員会

- ①アメリカ水産学会との交流  
平成 20 年度日本水産学会大会に招聘  
2008 年アメリカ水産学会大会（オタワ）へ委員派遣  
2009 年 3 月日米水産学会合同シンポジウム（東京）の企画
- ②イギリス諸島水産学会との交流  
2010 年 7 月日米英合同シンポジウム（ベルファースト）の企画
- ③アジア水産学会との交流  
情報交換
- ④世界水産学協議会との連携  
5th World Fisheries Congress の開催

g) 水産教育推進委員会

- ①財農学会技術者教育推進委員会委員の派遣
- ②アンケート調査  
水産学導入における教科書等教材  
海外との水産教育関連プログラム  
教員免許更新講習に関する対応

h) 水産政策委員会（特別委員会）

- ①日本水産学会特別シンポジウム（平成 20 年 4 月 25 日），於東京大学農学部  
講演「生態系サービスと水産」演題 7 題，参加者 90 名
- ②マリン・エコラベル認証についての申し入れ

2. 学会誌および学術図書の刊行（定款第 5 条二）

1) 学会誌

- a) 日本水産学会誌 第 74 巻 2 号～第 75 巻 1 号まで計 6 冊  
[報文 73 編，総説，企画記事，会告，会報等 総ページ 1,277 ページ（各号 4,400 部発行）]
- b) Fisheries Science 第 74 巻 2 号～第 75 巻 1 号まで計 6 冊  
[報文 186 編，総説等総ページ 1,486 ページ（各号 700 部発行）]

2) 水産学シリーズ

- a) 第 157 号「森川海のつながりと河口・沿岸域の生物生産」山下 洋・田中 克編，1,000 部発行
- b) 第 158 号「水産物の色素—嗜好性と機能性」平田 孝・菅原達也編，1,000 部発行
- c) 第 159 号「安定同位体スコープで覗く海洋生物の生態—アサリからクジラまで」富永 修・高井則之編，  
1,000 部発行
- d) 第 160 号「磯焼けの科学と修復技術」谷口和也・吾妻行雄・嵯峨直恆編，1,000 部発行

3) ベルソープックス

重版

- a) 001「魚をとりながら増やす」（5 版）松宮義晴著，1,000 部発行
- b) 002「あわび文化と日本人」（改訂 3 版）大場俊雄著，500 部発行
- c) 009「魚介類に寄生する生物」（改訂 3 版）長澤和也著，1,000 部発行

4) 水産技術誌

- a) 水産技術 第 1 巻 1 号，1,700 部発行

## 3. 関連学会等との連絡および協力（定款第5条三）

## 1) 共催

- a) 2008年日本プランクトン学会シンポジウム  
主催 日本プランクトン学会，共催 日本海洋学会，他1学会  
日程 平成20年3月26日，於東京海洋大学品川キャンパス
- b) 第11回マリンバイオテクノロジー学会大会  
主催 マリンバイオテクノロジー学会  
日程 平成20年5月24日・25日，於京都大学吉田南総合館（京都府京都市）
- c) 第45回アイソトープ・放射線研究発表会  
主催 日本アイソトープ協会，共催 応用物理学会，他60学協会  
日程 平成20年7月2日～7日，於日本青年館（東京都新宿区）

## 2) 協賛

- a) 第20回海洋工学シンポジウム  
主催 日本海洋工学会・日本船舶海洋工学会，協賛 海洋音響学会，他28学会  
日程 平成20年3月18日・19日，於日本大学理工学部駿河台キャンパス（東京都千代田区）
- b) OCEAN'S08 MTS/IEEE/KOBE TECHNO-OCEAN'S08  
主催 米国電気電子学会・海洋工学会，他，協賛 日本水環境学会，他多数団体  
日程 平成20年4月8日，於神戸国際展示場（兵庫県神戸市）
- c) 第41回海中海底工学フォーラム  
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会，協賛 日本船舶海洋工学会，他7学会  
日程 平成20年5月16日，於東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）
- d) 食品ハイドロコロイドセミナー2008  
主催 食品ハイドロコロイド研究会，協賛 化学工学会，他30学会  
日程 平成20年5月20日，於日本教育会館（東京都千代田区）
- e) 第19回食品ハイドロコロイドシンポジウム  
主催 食品ハイドロコロイド研究会，協賛 化学工学会，他30学会  
日程 平成20年5月21日，於日本教育会館
- f) 第14回海洋腐食と汚損国際会議（14th ICMCF）  
主催 日本マリンエンジニアリング学会，協賛 日本船舶海洋工学会，他12学協会  
日程 平成20年7月27日，於神戸国際会議場（兵庫県神戸市）
- g) 日本油化学会第47回年会  
主催 日本油化学会，協賛 石油学会，他7学協会  
日程 平成20年9月17日～19日，於日本大学理工学部（東京都千代田区）
- h) 第6回高付加価値食品開発のためのフォーラム  
主催 日本食品機械研究会，協賛 日本栄養・食糧学会，他14団体  
日程 平成20年9月25日・26日，於富士教育研修所（静岡県裾野市）
- i) 第42回海中海底工学フォーラム  
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会，協賛 日本船舶海洋工学会，他7学会  
日程 平成20年10月10日，於東京大学海洋研究所（東京都中野区）
- j) 2008年度日本冷凍空調学会年次大会  
主催 日本冷凍空調学会，協賛 近畿冷凍空調工業会，他29団体  
日程 平成20年10月20日～23日，於大阪市立大学学術情報総合センター（大阪府大阪市）
- k) 第20回研究成果発表会  
主催 海洋調査技術学会，協賛 海中海底工学フォーラム，他17学協会  
日程 平成20年11月17日・18日，於日本科学未来館（東京都江東区）
- l) 第49回高圧討論会  
主催 日本高圧力学会，協賛 応用物理学会，他45学協会  
日程 平成20年11月12日～14日，於姫路市姫路商工会議所（兵庫県姫路市）

- m) 第13回ヒ素シンポジウム  
主催 日本ヒ素研究会, 協賛 日本環境化学会, 他9学会  
日程 平成19年11月23日・24日, 於東海大学短期大学部(静岡県静岡市)
- n) 第8回基準油脂分析試験法セミナー—脂質分析の基礎から応用・周辺領域のトピックスまで—  
主催 日本油化学会, 協賛 日本農芸化学会, 他5学会  
日程 平成20年11月27日・28日, 於東京理科大学森戸記念館(東京都新宿区)
- o) 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センターシンポジウム「東京湾を知る, 守る, 利用する」  
主催 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター, 後援, 協力 神奈川県, 他5団体  
日程 平成20年12月9日, 於横浜開港記念会館(神奈川県横浜市)
- p) 生態工学会ミニシンポジウム  
主催 生態工学会・循環式水棲生物飼育研究部会, 共催 東京海洋大学, 協賛 日本魚病学会  
日程 平成21年2月7日, 於東京海洋大学品川キャンパス

3) 後援

- a) 第1回沿岸環境評価ワークショップ“‘The First Coastal Environmental Assessment Workshop’”  
主催 環日本海環境協力センター, 後援 環境省, 他5団体  
日程 平成20年3月7日, 於タワー111(富山県富山市)
- b) 海洋環境保全シンポジウム  
主催 環日本海環境協力センター, 後援 環境省, 他5団体  
日程 平成20年3月7日, 於サンシップ(富山県富山市)
- c) 第2回沿岸環境評価国際ワークショップ  
主催 環日本海環境協力センター, 後援 日本水環境学会, 他10団体  
日程 平成20年9月11日, 於タワー111

4) 第5回世界水産学会議「5th World Fisheries Congress」開催

5) 日本学術会議への協力

6) 日本農学会への協力

7) 勸農学会への協力

8) 学術の共同研究, 情報の交換

9) 海外との学術交流等

- a) アメリカ水産学会との交流
- b) 中国水産学会との交流
- c) イギリス諸島水産学会との交流
- d) 世界水産学協議会, 世界水産学会議への協力
- e) 国際連合食糧農業機関 (FAO) 水産養殖局との協力
- f) 文献交換の斡旋
- g) 外国人研究者との交流
- h) その他

4. 研究業績の表彰(定款第5条四)

1) 学会賞受賞者の決定

日本水産学会賞	竹内 俊郎「海産魚介類種苗の健全性向上に関する研究」
日本水産学会功績賞	天野 秀臣「海藻成分の生化学と機能性に関する一連の研究」
	塩見 一雄「魚貝類の危害成分に関する一連の化学的研究」
水産学進歩賞	石松 惇「海洋動物の酸素・二酸化炭素環境への適応に関する研究」
	大嶋 雄治「トリブチルスズの魚貝類への影響に関する生殖生理学および生化学的研究」
	川合 祐史「水産食品の保蔵と加工に及ぼす理化学的・微生物学的因子に関する研究」
	中嶋 正道「魚類養殖における量的形質の育種学的研究」
水産学奨励賞	太田 耕平「魚類の性転換研究のためのモデル種構築とその生理・分子機構」
	高須賀明典「小型浮魚類の初期生態と魚種交替過程に関する研究」

- 水野 伸也「通し回遊性サケ目魚類の種苗生産技術向上に関する研究」  
 山家 秀信「サケ科魚類における性フェロモンに関する研究」  
 水産学技術賞 浜口 昌巳「アサリ等海産ベントスの初期生態研究推進のための技術開発」  
 古川 清・山下 光司「マダイ養殖における実用規模自発摂餌給餌システムの開発」

## 2) 日本水産学会論文賞の決定

- a) Fisheries Science 第74巻1号: 8-18 ページ  
 Transport and survival processes of eggs and larvae of jack mackerel *Trachurus japonicus* in the East China Sea  
 笠井亮秀, 小松幸生, 佐々千由紀, 小西芳信
- b) Fisheries Science 第74巻1号: 77-87 ページ  
 Bioremediation of organically enriched sediment deposited below fish farms with artificially mass-cultured colonies of a deposit-feeding polychaete *Capitella* sp. I  
 木下今日子, 玉置紗矢香, 吉岡美穂, スィートンウタイ・サラウット, 國弘忠生, 濱 大吾, 大和田紘一, 堤裕昭
- c) Fisheries Science 第74巻2号: 276-284 ページ  
 Jack mackerel *Trachurus japonicus* juveniles use jellyfish for predator avoidance and as a prey collector  
 益田玲爾, 山下 洋, 松山倫也
- d) Fisheries Science 第74巻2号: 380-390 ページ  
 Availability of genetically modified feed ingredient II: investigations of ingested foreign DNA in rainbow trout *Oncorhynchus mykiss*  
 Pitchaya Chainark, 佐藤秀一, 廣野育生, 青木 宙, 延東 真
- e) Fisheries Science 第74巻4号: 781-786 ページ  
 Underwater sound detection by cephalopod statocyst  
 海部健三, 赤松友成, 瀬川 進
- f) Fisheries Science 第74巻4号: 911-920 ページ  
 Identification of angiotensin I-converting enzyme inhibitory peptides derived from salmon muscle and their anti-hypertensive effect  
 江成宏之, 高橋義宣, 河原崎正貴, 多田元比古, 竜田邦明
- g) Fisheries Science 第69巻6号: 1231-1239 ページ  
 New approaches for the effective recovery of fish proteins and their physicochemical characteristics  
 金 英信, Jae Won Park, 崔 曠準
- h) 日本水産学会誌 第74巻6号: 1052-1059 ページ  
 マイクロサテライト DNA マーカーによる釣獲されたアユの由来判別と種苗放流効果の評価  
 久保田仁志, 手塚 清, 福富則夫
- 3) 平成20年度日本農学進歩賞受賞者の推薦  
 佐藤 琢「大型甲殻類漁業における雄選択的な漁業が資源に与える影響の解明」
- 4) 第30回沖繩研究奨励賞受賞者の推薦  
 與世田兼三「ハタ類3種(ヤイトハタ *Epinephelus malabaricus*, キジハタ *Epinephelus akaara*, スジアラ *Plectropomus leopardus*) の初期減耗要因の解明に関する研究」

## 5. その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条五)

- 1) 通常総会1回(平成20年3月29日), 於東海大学海洋学部
- a) 平成19年度事業報告ならびに収支決算, 貸借対照表, 財産目録および監査報告の承認
- b) 平成20年度事業計画案および収支予算案の承認
- c) 平成21年度事業計画案および収支予算案の定款第40条2項による取り扱いの承認
- d) 細則一部改正の承認
- e) 役員(理事および幹事)選任の承認
- f) 定款第11条三による平成19年度除名者の承認

- 2) 評議員会1回(平成21年3月27日), 於東京海洋大学品川キャンパス
- a) 平成20年度事業報告案, 収支決算案, 貸借対照表案, 財産目録および監査報告の承認
  - b) 平成21年度事業計画案および収支予算案の承認
  - c) 平成22年度事業計画案および収支予算案の定款第40条2項による取り扱いの承認
  - d) 細則一部改正案の承認
  - e) 役員(理事)候補者の承認
  - f) 名誉会員推薦の承認
  - g) 定款第11条三による平成20年度除名予定者の承認
  - h) 新公益法人制度への対応について承認

3) 理事会7回

平成20年度第3回(平成20年3月29日), 於東海大学海洋学部

- a) 会長, 副会長の選出
- b) 理事の担当部門の決定
- c) 平成20年度総会における議決事項の確認
- d) 総会にて細則の一部改正が承認されたことに伴い, 前年度に検討した水産技術誌監修委員会規則の新設および国際交流委員会規則, 水産教育推進委員会規則ならびに学会誌配布規程の一部改正の承認
- e) 国際交流委員会委員長の選出
- f) 公益法人化対応特別委員会, 財務検討特別委員会設置および各委員会委員の承認
- g) 水産技術誌監修委員会委員の承認
- h) 協賛依頼の承認
- i) 入会者の承認

平成20年度第4回(平成20年6月7日), 於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 水産政策特別委員会経費の予備費からの支出を承認
- b) 沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイントシンポジウム経費の予備費からの支出を承認
- c) 支部担当理事辞任および選出方法の承認
- d) 平成20・21年度中部, 中国・四国支部担当理事候補者の選出
- e) 会長指名理事候補者の選出
- f) 会長指名評議員候補者の選出
- g) 大会規程一部改正の承認
- h) 大会運営要領一部改正の承認
- i) 役員等選挙規程一部改正の承認
- j) 水産技術誌監修委員会幹事の承認
- k) 支部交付金の配分額の承認
- l) 公益法人への移行申請を目指すことの承認
- m) 公益法人化対応委員会委員追加の承認
- n) 水産政策特別委員会の常置委員会移行を審議
- o) 「若手の会」新設の承認
- p) 大会における社会科学系および水産教育系のセッション新設を承認
- q) 賛助会員獲得取り組みの開始時期を承認
- r) 水産学会ロゴマークおよび学会名の商標出願に向けた取り組みを承認
- s) 大会運営業者選定の検討
- t) 協賛依頼の承認
- u) 入会者の承認

平成20年度第5回(平成20年9月20日), 於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 会長指名理事候補者の担当を承認
- b) 投稿規程一部改正および別記一部改正の承認
- c) 会員購読の促進方法について, Fisheries Science 頒布方法を承認
- d) 学会誌配布規程一部改正の承認

- e) Fisheries Science 表紙写真提供者に冊子贈呈（1年間）の承認
- f) 賛助会員に対する特典追加の承認
- g) 沖縄研究奨励賞受賞候補者推薦の学会賞選考委員会に一任を承認
- h) 平成21年度春季大会運営業者の選定は、大会実行委員会一任を承認
- i) 大会規程における講演要旨集の表題表記法について審議
- j) 平成22年度秋季大会担当機関選出の審議
- k) 水産増殖懇話会委員会委員交代の承認
- l) 水産学会監修本宣伝物に限り、有料で和文誌配布封筒に同封の承認
- m) 水産学会ロゴマーク商標出願の承認
- n) 水産政策特別委員会が大日本水産会事業部に対して行ったマリン・エコラベル認証の申し入れを承認
- o) 協賛、後援、ロゴマーク使用依頼の承認
- p) 入会者の承認

平成20年度第6回（平成20年12月13日）、於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 名誉会員推薦の審議
- b) 細則一部改正の審議
- c) 平成21年度永年会員の認定
- d) 学会賞授賞規程一部改正の承認
- e) 平成20年度日本水産学会賞受賞者の決定
- f) 第30回沖縄研究奨励賞受賞候補者推薦の承認
- g) 平成21年度秋季大会日程、場所、大会委員長の承認
- h) 平成22年度春季大会担当機関の承認
- i) 平成22年度秋季大会担当支部の承認
- j) 平成20年度水産利用懇話会委員会委員交代および幹事の承認
- k) 平成20年度国際交流委員会委員追加の承認
- l) 理事会・水産政策委員会主催シンポジウム開催の承認
- m) 日本農学会平成21年度評議員、運営委員選出の承認
- n) 公益社団法人移行認定に向けた定款および細則の変更案について会員から意見募集の承認
- o) 協賛依頼の承認
- p) 入会者の承認

平成20年度第7回（平成21年2月7日）、於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 平成20年度事業報告案、収支決算案および特別会計決算案の審議
- b) 平成21年度事業計画案、収支予算案および特別会計予算案の審議
- c) 平成22年度事業計画案ならびに収支予算案の取り扱いについて審議
- d) 細則一部改正案の審議
- e) 名誉会員推薦の審議
- f) 平成20年度除名予定者の審議
- g) 新公益法人制度対応の審議
- h) 学会賞授賞規程一部改正案の承認
- i) 役員選挙規程一部改正案の承認
- j) 平成20年度日本水産学会論文賞の承認
- k) 「新公益法人制度と公益社団法人への移行認定の手続きに関する説明会」開催の承認
- l) 水産利用懇話会委員の交代承認
- m) 大会委員長印作成の承認
- n) 第5回世界水産学会議戻入金の審議
- o) 東京大学海洋研究所共同利用・共同研究拠点化サポートレター発出の審議
- p) 農林水産省関係事業に関するアンケート調査協力の審議
- q) 協賛依頼の承認
- r) 入会者の承認



平成 21 年度第 1 回（平成 21 年 3 月 14 日），於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 平成 20 年度事業報告案，収支決算案，特別会計決算案ならびに財産目録および貸借対照表案の審議
- b) 平成 21 年度事業計画案，収支予算案および特別会計予算案の審議
- c) 細則一部改正案の審議
- d) 平成 20 年度除名予定者の審議
- e) 名誉会員の学会誌掲載追悼文の承認
- f) 次期委員長選出の承認
- g) 各種委員会委員および幹事の承認
- h) 平成 22 年度春季大会開催事項の承認
- i) 水産政策委員会委員規則（案）の検討
- j) 「沿岸環境関連学会連絡協議会」経費の検討
- k) 日本水産学会誌の企画記事等の電子ジャーナル化の検討
- l) 平成 22 年度日本農芸化学大会共催の審議
- m) 協賛依頼の承認
- n) 入会者の承認

平成 21 年度第 2 回（平成 21 年 3 月 27 日），於東京海洋大学品川キャンパス

- a) 平成 20 年度事業報告案，収支決算案，特別会計決算案，財産目録および貸借対照表案の審議ならびに評議員会および総会に諮ることの承認
- b) 平成 21 年度事業計画案および収支予算案の審議ならびに評議員会および総会に諮ることの承認
- c) 平成 22 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの審議ならびに評議員会および総会に諮ることの承認
- d) 細則一部改正案を評議員会および総会に諮ることの承認
- e) 役員（理事）候補者を評議員会および総会に諮ることの承認
- f) 名誉会員の推薦を評議員会および総会に諮ることの承認
- g) 平成 20 年度除名予定者を評議員会および総会に諮ることの承認
- h) 新公益法人制度への対応を評議員会および総会に諮ることの承認

4) 委員会

- a) 編集委員会 5 回
- b) 企画広報委員会 6 回
- c) 学会賞選考委員会 2 回
- d) シンポジウム企画委員会 2 回
- e) 出版委員会 2 回
- f) ベルソープックス委員会 2 回
- g) 水産環境保全委員会 2 回
- h) 漁業懇話会委員会 1 回
- i) 水産利用懇話会委員会 3 回
- j) 水産増殖懇話会委員会 3 回
- k) 国際交流委員会 3 回
- l) 選挙管理委員会 2 回
- m) 水産学教育推進委員会 4 回
- n) 水産技術誌監修委員会 2 回
- o) 水産政策委員会（特別委員会） メール会議のみ
- p) 公益法人化対応委員会（特別委員会） 1 回

5) 支部

- a) 北海道支部 支部総会 1 回，支部評議員会 1 回
- b) 東北支部 支部総会 1 回，支部評議員会 2 回，支部幹事会 1 回，評議員・幹事合同会議 1 回
- c) 関東支部 支部評議員会 1 回
- d) 中部支部 支部総会 1 回，支部評議員会 1 回

- e) 近畿支部 支部総会 1 回, 支部評議員会 2 回
- f) 中国・四国支部 支部総会 1 回, 支部評議員会 2 回
- g) 九州支部 支部総会 1 回, 支部評議員会 3 回

## 別記

## 第 5 回世界水産学会議「5th World Fisheries Congress」

テーマ Fisheries for Global Welfare and Environmental Conservation

「世界の福祉と環境保全のための水産業」

会 期 2008 年 (平成 20 年) 10 月 20 日(月)～24 日(木) 5 日間

会 場 於パシフィコ横浜会議センター・国立大ホール (神奈川県横浜市)

主 催 日本水産学会, 内閣府日本学術会議

共 催 水産総合研究センター, 世界水産学協議会

国際母体機関 世界水産学協議会

後 援 文部科学省, 農林水産省, 水産庁, 国連食糧農業機関 (FAO), 横浜市, 大日本水産会, 全国漁業協同組合連合会, 漁業経済学会, 水産海洋学会, 地域漁業学会, 日本海洋学会, 日本魚病学会, 日本水産工学会, 日本水産増殖学会, 日本付着生物学会, 日本プランクトン学会, マリンバイオテクノロジー学会

協 力 国際観光振興機構 (JNTO)

参加者数 国内 1,056 名 (外同伴者 9 名), 海外 495 名 (外同伴者 30 名) 参加国数 57 ヶ国

セッション Fisheries and Fish Biology (漁業と資源生物学)

Aquaculture (増養殖)

Biotechnology (バイオテクノロジー)

Post Harvest Science and Technology (ポストハーベスト)

Material Cycling in Aquatic Ecosystems—Linking Climate Change and Fisheries (水圏生態系における物質循環)

Freshwater, Coastal and Marine Environment (淡水, 沿岸および海洋環境)

Biodiversity and Management (生物多様性と資源管理)

Fisheries Economics and Social Science (水産経済と社会)

Education and International Cooperation (水産教育と国際協力)

## プログラム

## 基調講演

- a) 「Fisheries management: Status and challenges」21 日, 野村一郎 (FAO 水産養殖局, イタリア)
- b) 「Exploring the BOFFFF hypothesis using a model of Southern African deepwater hake (*Merluccius paradoxus*)」21 日, John G. Field (ケープタウン大学, 南アフリカ)
- c) 「A tale of two initiatives: Integrated coastal management in Xiamen and Batangas Bay Region」22 日, Chua Thia-Eng (Partnerships in Environmental Management for the Seas of East Asia, フィリピン)
- d) 「The role of docosahexaenoic and arachidonic acids as determinants of evolution and hominid brain development」22 日, Michael A. Crawford (ロンドンメトロポリタン大学, イギリス)
- e) 「Effects of fishing on inter and intra stock diversity of marine resources」23 日, Gudrun Marteinsdottir (アイスランド大学, アイスランド)
- f) 「Salmonid genome research; applications for aquaculture, conservation and the environment」24 日, Benjamin F. Koop (ビクトリア大学, カナダ)

ウェルカムパーティー 20 日

開会式 21 日

口頭発表 (シンポジウム形式) 21 日～24 日

687 題 (国内 364, 海外 323)

ポスター発表 21 日～24 日

512 題 (国内 398, 海外 114)

展 示 21 日～23 日

34 団体

記念式典（天皇陛下，皇后陛下ご臨席，天皇陛下お言葉） 22 日

来賓 野田聖子内閣府特命担当大臣，中田 宏横浜市長

メッセージ 麻生太郎内閣総理大臣

参加者約 1,000 名

レセプション（天皇陛下，皇后陛下ご臨席） 22 日

於ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル（神奈川県横浜市）参加者約 160 名

交歓会 23 日，於大さん橋ホール（神奈川県横浜市）参加者約 1,200 名

和太鼓演奏，ジャズ演奏

閉会式 24 日

エクスカージョン 20 日～23 日

於水産総合研究センター中央水産研究所（神奈川県横浜市）参加者数 19 名，富士箱根参加者数 46 名，他  
 同伴者プログラム（日本文化紹介）

21 日 茶道 参加者数 20 名，書道 参加者数 13 名

23 日 折り紙 参加者数 16 名，生け花 参加者数 11 名

学生優秀ポスター賞 19 題

閉会式で賞状，副賞として T シャツ，USB メモリーの贈呈

GIS (Geographical Information Systems) トレーニングコース 19 日・20 日

A コース シェアグリッド研修センター（神奈川県横浜市），講師 5 名，参加者数 15 名（うち日本人 2 名）

B コース 東京海洋大学品川キャンパス，講師 10 名，参加者数 40 名（うち日本人 5 名）

調査船展示 一般公開 22 日・23 日

水産総合研究センター漁業調査船「蒼鷹丸」

於みなとみらい新港ふ頭 5 号岸壁（神奈川県横浜市）

英語説明ツアー 参加者数 72 名，自由見学 参加者数 514 名

公開市民講座「青い目の魚たち—水産物貿易の現状と安全安心，日本の水産の未来」 25 日

於横浜市開港記念会館（神奈川県横浜市），参加者数 60 名

メモリアルブック「Fisheries for Global Welfare and Environment」の刊行

著者は国内外の研究者 87 名，33 編の掲載

130 冊売上（12/2 現在）

プロシーディング集の刊行（投稿数 561 編）

記念品作成

コンgresバック，メモリアルブック，T シャツ，ミニボックス，USB メモリー

関連行事

サテライトシンポジウム

1. 「ウナギの保全に関する学際研究」 17 日，於クイーンズタワー（神奈川県横浜市）  
 第 12 回東アジア鰻資源協議会（EASEC）と国際シンポジウム EEL2008 横浜，参加者数 106 名
2. 「第 5 回日本魚病学会国際シンポジウム～持続的養殖における魚病学の役割」  
 18 日・19 日，於東京大学農学部弥生講堂（東京都文京区），参加者数 184 名
3. 「まぐろ養殖の現状と今後の展開」 25 日・26 日  
 於横浜市開港記念会館，参加者数 111 名
4. 「第 1 回国際アサリシンポジウム—資源増殖と管理」 25 日・26 日  
 於水産総合研究センター中央水産研究所，参加者数 64 名
5. 「水産物の安全性に関する国際シンポジウム」 27 日  
 於水産総合研究センター中央水産研究所，参加者数 50 名

## 会 員 数 異 動 状 況 (種別会員数)

種別	平成 19年度末 現在数	平成20年度異動						平成 20年度末 現在数	平成21年3月1日現在			
		入会	種別変更		死亡	退会	除名		平成21年度 より入会	種別変更		現在数
			入	出						入	出	
正会員 (内, 永年会員)	3,160 ( 58)	100	39 ( 4)	3 ( 0)	7 (1)	141 ( 2)	18 ( 0)	3,130 ( 59)	71	17 ( 1)	1	3,217 ( 60)
団体会員	183	4	0	0		5	0	182	2	0	0	184
賛助会員	69	2	0	0		3	0	68	2	0	0	70
外国会員	116	20	3	4	0	15	8	112	5	0	0	117
学生会員	294	227	1	36	0	255	0	231	237	1	17	452
名誉会員	24	0			2	0	0	22	0	0	0	22
合 計	3,846	353	43	43	9	419	26	3,745	317	18	18	4,062

## 平成21年度3月1日現在支部別会員数 (正会員・学生会員)

種別	支部	北海道	東 北	関 東	中 部	近 畿	中国・四国	九 州	合 計
正会員 (内, 永年会員)		357 (3)	219 (4)	1,010 (30)	496 (6)	304 (6)	383 (5)	448 (6)	3,217 (60)
学生会員		68	40	169	47	41	43	44	452